５．京都府京都市

<table>
<tr><td colspan="2">プロジェクトの名称</td><td>京（みやこ）の川再生事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロジェクトの対象地域</td><td>京都市</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロジェクトの実施期間</td><td>平成９年度～平成２２年度（予定）</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロジェクトの主体</td><td>○京都府（西高瀬川）、京都市（堀川）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">プロジェクトの概要</td><td>プロジェクトの目標</td><td>人々がゆとりを持って暮らせるうるおいのある京のまちづくりのために、水辺の再生を図るとともに、川の持つ防災機能を発揮できる川づくりを目指す。
親水的な水辺整備を行うことにより、都市部の水辺環境の改善を目指すことを目的として、山紫水明の歴史都市・京都にふさわしい水辺の再生を図る。</td></tr>
<tr><td>プロジェクトの提案理由（経緯・背景）</td><td>平安京造営以来営々と続けてきた京の水環境は、戦後の都市化の進展とともに大きく変化した。昭和３０年頃からの急激な都市化に対応する治水対策、下水道整備などのため、普段は水がないが雨天時には余水吐から下水が流れ込む、合流式下水道の放流先としてコンクリートで底張りされた河川となっている。水と緑と町並みが一体となった京の景観が失われるなかで、かつてのような清流をよみがえらせたいという地域の願いも大きくなってきたなかで、清流復活だけではなく、まちづくりと一体になった水辺空間を整備する。</td></tr>
<tr><td>当初想定していた課題、問題点</td><td>◎西高瀬川
○　施設整備後の水質・流量調査や拠点施設の利用状況調査等のフォローアップ
○　拠点施設について住民に広く利用されるためのＰＲ活動が必要
○　隣接する公園等との一体整備
○　水質改善に向けて下水の合流改善が必要

◎堀川
○　整備構想の実現に向けた地元調整
○　合流式下水道の改善や出水時の安全確保
○　二条城への導水工事における史跡の取扱い</td></tr>
</table>

2. 実施状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　成果報告書様式２－１

	個別事業名		個　別　事　業　の　概　要
概要報告	①	西高瀬川京の川再生事業（京都府）	○　導水事業：水量不足と水質悪化が課題となっている下流部に、分断されている流れをつなぎ、都市部の水辺環境に必要な水量の確保を図る。 ○　拠点整備事業：河川に隣接した公園や小学校など人が集まる箇所を選定し、親水性に配慮した水辺空間の整備を行う。
	②	堀川水辺環境整備事業（京都市）	○　堀川の開渠部に導水し、せせらぎを復活させると共に水辺空間の整備を行う。 ○　堀川に導水した水の一部を二条城の外堀に導水するとともに、堆積した汚泥を浚渫することにより、外堀の水質の浄化を図る。 ○　堀川の河床に消防水利施設（ピット）を整備し、災害時の消火用水、生活用水としての利用を図る。
	③		
	④		
	⑤		

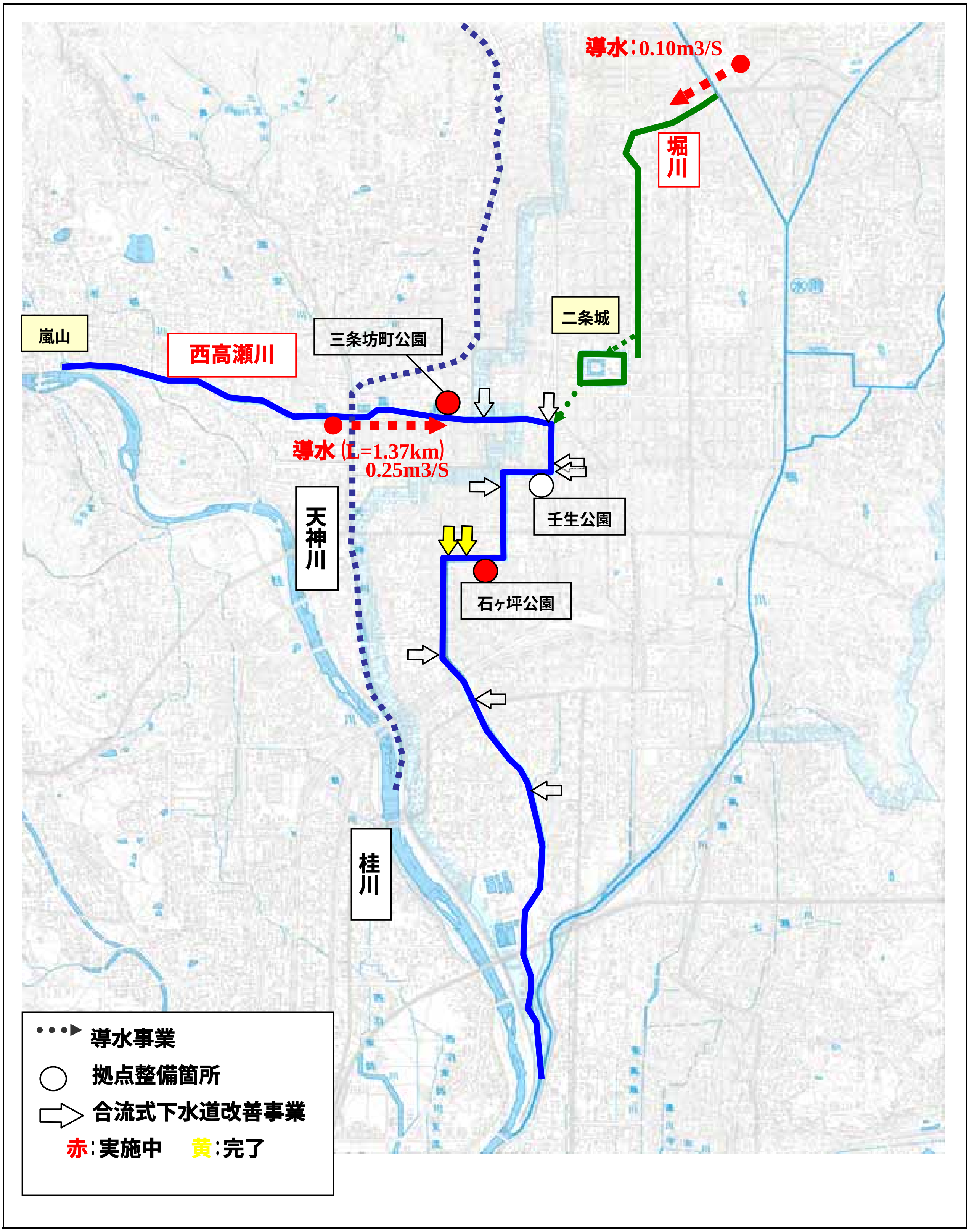
進捗状況

		Ｈ１５	Ｈ１６	Ｈ１７	Ｈ１８以降
西高瀬川	導水事業				
	拠点整備事業（石ヶ坪公園）				
	（三条坊町公園）				
	（壬生公園）				
掘川	設計				
	鴨川ｻｲﾌｫﾝ 紫明通・堀川通				
	堀川開渠部				
	二条城外堀浚渫				
	堀川→二条城導水				

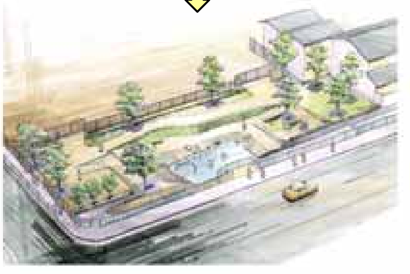
●●●▶	設計	上段：黒 下段：黒	計画 予定
━━▶	工事	下段：赤	実施
■■■▶	ＷＳ	下段：黄	完了

京の川再生事業概要図

成果報告書様式２－３



成果や状況を示す写真（１：西高瀬川京の川再生事業）



【コメント欄】

拠点整備事業：三条坊町公園において、地域住民等とのワークショップにより親水施設の整備計画案を策定した。今後はこの整備計画案をもとに関係機関との調整など具体化に向けて取り組む予定。

成果や状況を示す写真（２：堀川水辺環境整備事業）

【コメント欄】

整備対象区間が約４ｋｍと長いため、河川や沿線の状況によって５つのゾーンに分け、地域住民とのワークショップにより、特色のある整備構想を策定した。
明治初期に架けられた石造りのアーチ橋を眺め、散策できるような水辺を創出する。

取　組　状　況	
①	西高瀬川京の川再生事業
	○　導水事業：平成１６年度より導水事業に着手 ○　拠点整備事業：拠点のうち、石ヶ坪公園（平成 13 年度）及び三条坊町公園（平成 16 年度）については、地域住民を交えワークショップを開催し、整備案を取りまとめた。
②	堀川水辺環境整備事業
	・　導水：平成１６年度より鴨川サイフォン工事に着手 ・　水辺空間整備：平成１６年度に地表水路の詳細設計、平成１７年度には堀川開渠の詳細設計と地表水路の工事に着手
③	
④	
⑤	

現 時 点 ま で の 成 果 内 容
◎西高瀬川 ○　導水事業：平成１６年度より実施中 ○　拠点整備事業：石ヶ坪公園、三条坊町公園における整備計画案策定 ◎堀川 ○　水辺環境整備構想策定 ○　導水路：鴨川サイフォン工事着手、紫明通詳細設計実施

課 題 、 問 題 点 へ の 対 応
◎西高瀬川 ○　施設整備後の水質・流量調査や拠点施設の利用状況調査等のフォローアップ ○　拠点施設について住民に広く利用されるためのＰＲ活動が必要 ○　隣接する公園等との一体整備 →住民参画によるワークショップにより整備計画案を策定。今後具体化に向けた各種調整 ○　水質改善に向けて下水の合流改善が必要 →下水道事業との連携 ◎堀川 ○　整備構想の実現に向けた地元調整 →課題整理の場として「堀川水辺環境整備推進懇談会」を活用 ○　合流式下水道の改善や出水時の安全確保 →下水道事業との連携、注意喚起の広報 ○　二条城への導水工事における史跡の取扱い

直 接 効 果 と 波 及 効 果	
直接効果	◎西高瀬川 潤いのある都市空間、水と触れ合う親水空間の創出 ◎　堀川 せせらぎ水路、遊歩道整備による高質な水辺空間の創出 消防用ピットによる、災害時の消化用水、生活用水としての活用
波及効果	◎西高瀬川 ・ワークショップ開催による住民意識の向上 ・地元企業等による美化活動の実施 ◎堀川 ワークショップによる住民相互理解やまちづくりに対する意識の向上（地域への愛着、美化活動等） 「堀川に清流を・・」の願いを込め地元自治組織主催で平成１２年より、堀川通の歩道には小学生や幼稚園児が描いた絵付き吊灯ろうを並べ、川底にはペットボトルにロウソクを入れた灯ろうを並べ、川底に「水のせせらぎ」を演出した、「堀川灯ろうまつり」が開催されている。

4. 原因分析

成功及びうまくいかなかった点の原因分析
◎西高瀬川 拠点整備については、地域住民の参画を得てワークショップにて整備計画案を策定した。参加者の認識の違いがあったが、協働で策定することにより、現状や問題点を共通認識として持ち、今後川に対する愛着心、地域環境への関心を生み出す効果があった。 ◎堀川 水辺空間整備については、ワークショップにより案を作成したが、まちづくりへの意識向上が見られた。住民の相互理解が進んだことによるものと考える。

5. 今後の施策展開の方向性

今後の取組と事業実施に関する課題
◎西高瀬川 ○ 導水事業の早期完成 ○ 拠点整備事業における早期着工及び壬生公園におけるワークショップの開催 ○ 周辺の小学校、幼稚園、保育園等の児童、園児に身近に水辺空間を親しんでもらう ○ 地域住民のイベントの場として活用 ○ 大規模地震等の災害時に防災用水として利用できる環境の維持 ◎堀川 ○ 「堀川に清流を・・・」の願いを込めて開催されている堀川灯ろうまつりの継続、発展 ○ 周辺の小学校、幼稚園、保育園等の児童、園児に身近に水辺空間を親しんでもらう ○ 地域住民のイベントの場として活用 ○ 二条城等の歴史文化遺産と調和し、うるおいと安らぎのある水辺空間を、残すべき都市空間として市民とともに守る ○ 大規模地震等の災害時に防災用水として利用できる環境の維持